

## 病院全体

参加形式: 任意

指標名: 高齢者での事前指示 a. 80 歳以上の入院患者中、事前指示の記録がある患者の割合

### 定義の要約:

分子) 本人または代理決定者による事前指示の記録がある入院患者数

分母) 80 歳以上の入院患者数

### 指標の定義・算出方法:

1. 入院時年齢が 80 歳以上の入院患者数を分母とする。
2. 1のうち、本人または代理決定者による事前指示の記録がある患者を分子対象とする。

(ア) 事前指示は少なくとも以下の項目と同内容の記録があるものとする。

- ① 輸液.....希望する / 希望しない / わからない
- ② 中心静脈栄養.....希望する / 希望しない / わからない
- ③ 経管栄養(胃瘻を含む).....希望する / 希望しない / わからない
- ④ 昇圧剤の投与.....希望する / 希望しない / わからない
- ⑤ 人工呼吸器.....希望する / 希望しない / わからない
- ⑥ 蘇生術.....希望する / 希望しない / わからない

(イ) (ア)の①～⑥よりも細かい内容を取り決めている場合は分子対象とする。

式	単位
$(\text{分子} \div \text{分母}) \times 100$	% (パーセント)

その他:

### 意義:

意思表示をする能力のある者が、「突然の病気」や「認知症」等で自分の意思を伝えることができなくなる前に、“自分の終末期医療(ケア)をどうしてほしいのか”という思いや希望を事前に伝えることは重要である。

### 留意点:

医療者と事前指示について協議をし、本人または代理決定者が事前指示の取り決めに拒否した場合には値が低くなる可能性がある。

終末期医療(ケア)ではない患者についても分母対象となっており値が低くなる可能性がある。

事前指示の取り決めがなかったとしても必ずしも医療の質が低いとは言えない。

### 参考資料:

The National Council for Palliative Care (NCPC):Advance Care Planning: A Guide for Health and Social Care Staff

(<http://www.ncpc.org.uk/sites/default/files/AdvanceCarePlanning.pdf>)

National Committee for Quality Assurance: Advance Care Plan